
藤 沢 市 北 部 環 境 事 業 所
新 2 号 炉 整 備 ・ 運 営 事 業
事 業 者 選 定 基 準 書

2017 年 (平 成 29 年) 4 月
藤 沢 市



藤沢市北部環境事業所新2号炉整備・運営事業 事業者選定基準書

目 次

第1章 優先交渉権者選定の手順	1
1 事業者選定基準書の位置づけ	1
2 選定の手順	1
第2章 応募資格審査	4
1 応募資格要件の項目	4
第3章 提案審査	4
1 提案書の基礎審査	4
2 非価格要素審査	4
3 提案価格の確認	6
4 価格審査	6
5 総合評価点の算定方法	6
第4章 非価格要素審査において審査する点	7
第5章 提案書に関するヒアリング	9
第6章 審査結果等の公表	10

第1章 優先交渉権者選定の手順

1 事業者選定基準書の位置づけ

藤沢市北部環境事業所新2号炉整備・運営事業（以下「本件事業」という。）を実施する事業者は、ごみ焼却施設の設計・建設及び運営に係る専門的な知識やノウハウ（管理運営能力等）を有することが必要となるため、優先交渉権者の決定に当たっては、提案価格だけでなく、事業提案内容によって優先交渉権者を決定する公募型プロポーザル方式を採用する。

この「藤沢市北部環境事業所新2号炉整備・運営事業 事業者選定基準書」（以下「事業者選定基準書」という。）は、藤沢市（以下「市」という。）が本件事業を実施する優先交渉権者の募集・選定を行うに当たって、公募に応募しようとする者を対象に交付する募集要項と一体のものである。

事業者選定基準書は、公募型プロポーザル方式により優先交渉権者を選定するに当たって、要求水準書等の内容を踏まえ、応募者から提出された提案書等を客観的に評価する基準、方法等を示し、応募者の行う提案に具体的な指針を与えるものである。

2 選定の手順

本件事業における事業者の選定は、公募型プロポーザル方式に基づき、3頁の図に示す手順で実施する。

(1) 応募資格審査

市は、提出された参加資格審査申請書により、募集要項に記載の応募者の備えるべき応募資格要件（以下「応募資格要件」という。）を満たしていることを確認する。なお、応募資格要件を満たしていることが確認できない場合は失格とする。

(2) 提案審査

ア 事業提案書の基礎審査

藤沢市北部環境事業所新2号炉整備・運営事業審査委員会（以下「委員会」という。）は、事業提案書等に記載された内容が、事業者選定基準書に示す基礎審査項目を満たしていることを確認する。基礎審査項目について1項目でも満たさないことが確認された場合は失格とする。

イ 非価格要素審査

委員会は、提案書に記載された内容について、事業者選定基準書に示す審査基準及び得点化方法に従って評価する。

ウ 提案価格の確認

市は、価格提案書に記載された提案価格が予算価格を超えていないことを確認する。この結果、提案価格が予算価格を超える場合は失格とする。

エ 価格審査

委員会は、提案価格について、事業者選定基準書に示す得点化方法に従って評価する。

オ 総合評価点の算定

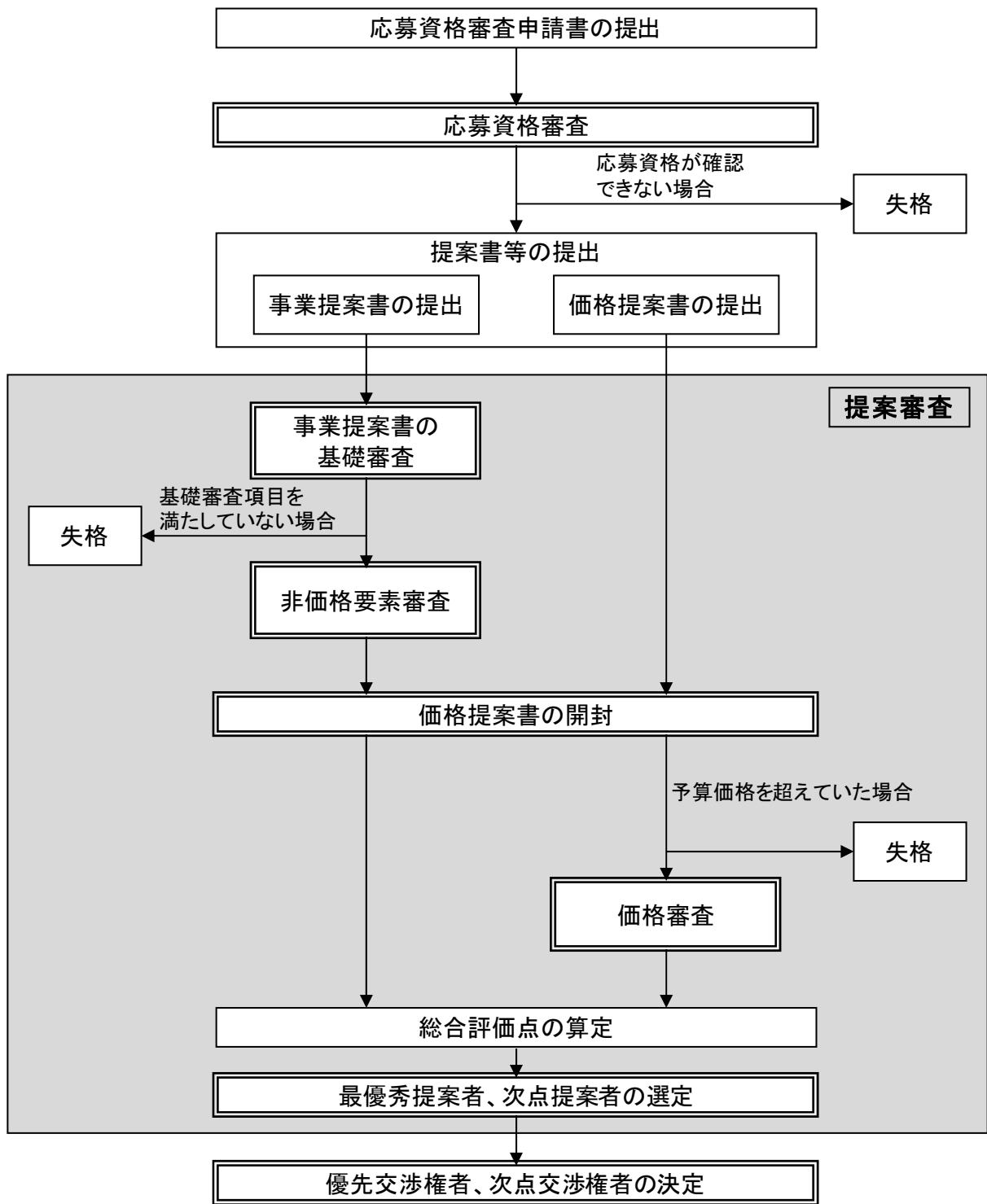
委員会は、非価格要素審査及び価格審査における得点を合計し、総合評価点を算出する。

カ 最優秀提案者の選定

委員会は、総合評価点が最も高い提案を行った応募者を最優秀提案者として選定する。

キ 優先交渉権者の決定

市は、委員会の審査結果を踏まえ、優先交渉権者を決定する。ただし、委員会が2以上の最優秀提案者を選定した場合は、非価格要素審査の得点が高い方の応募者を優先交渉権者として決定する。



※最優秀提案者を選定する委員会の事務は図中網掛け部分

図 1-1 優先交渉権者決定の手順

第2章 応募資格審査

1 応募資格要件の項目

応募表明書と同時に提出される応募資格審査申請書を確認する。応募資格審査基準日は、応募資格審査申請書受付最終日とする。

詳細については、募集要項「第3章 応募に関する条件等」(p.7～11)を参照のこと。

第3章 提案審査

1 提案書の基礎審査

(1) 応募書類の確認

提出された応募書類等がすべて揃っていることを確認する。

(2) 事業提案書の基礎審査

事業提案書に記載された内容が、次に掲げる基礎審査項目を満たしていることを確認する。

ア 事業提案書の内容が要求水準書に示す要求水準を満たしていること。

イ 募集要項及び様式集に示す提案書の作成に関する条件について違反のないこと。

ウ 事業提案書全体について、同一事項に対する2通り以上の提案又は提案事項間の齟齬、矛盾等がないこと。

2 非価格要素審査

(1) 提案書における審査項目及び配点

非価格要素審査の配点、審査基準及び得点化方法については、市が本件事業に対して民間の創意工夫の導出を期待する度合いにより設定した。したがって、審査項目は、市が民間に創意工夫を期待している事項であり、配点はその重みを示すものである。

審査項目及び配点については、次の表のとおりである。なお、各審査項目における審査基準等の詳細については、「第4章 非価格要素審査において審査する点」を参照のこと。

表 3-1 審査項目及び配点

審査項目				NO.	配点
大項目	中項目	小項目	細目		
1 設計・建設工事及び運営・維持管理に関する事項					43点
(1) 適正な環境保全対策を講じた環境負荷の少ない施設					12点
	ア	環境保全	① 公害防止基準を満足するための取組	1	4点
	イ	周辺環境に調和した施設	① 周辺環境に調和した施設	2	4点
	ウ	環境学習計画	① 見学者対応及び環境学習計画	3	4点
(2) 施設の長寿命化を見据えた安全、安定な施設					27点
	ア	建設関連	① 工事工程	4	4点
	イ	配置動線計画	① 屋外配置動線計画	5	4点
			② 屋内配置動線計画	6	3点
	ウ	施設の安全性	① トラブルの未然防止、事後対策及び非常時の安全確保	7	4点
	エ	施設の安定稼働	① 処理システムの信頼性	8	4点
			② 基本性能の維持	9	4点
	オ	災害復興拠点	① 設備の強靱化	10	4点
(3) 資源エネルギーの有効利用に優れた施設					4点
	ア	エネルギーの有効活用	① 発電効率及び発電量	11	4点
審査項目				NO.	配点
大項目	中項目	小項目	細目		
2 事業計画に関する事項					17点
(1) 組織体制					3点
	ア	組織体制	① 組織体制・人員配置計画	12	3点
(2) 経営計画・事業収支計画					2点
	ア	事業収支計画	① 経営計画及び事業収支計画策定の考え方及び事業の継続性に係る担保	13	2点
(3) リスク管理方法					4点
	ア	リスクの管理及び対処方法	① リスクへの対処方法に関する考え方	14	2点
			② セルフモニタリングの実施内容と頻度	15	2点
(4) 地域貢献					4点
	ア	地域経済及び地域社会への配慮	① 地域経済及び地域社会への配慮	16	4点
(5) その他					4点
	ア	その他の提案	① 本事業への有効性	17	4点
3 提案価格に関する事項					40点
(1) 提案価格				18	40点

(2) 非価格要素審査に関する得点化方法

ア 提案を求めている審査項目においては、次の5段階評価による得点化方法により得点を付与する。

表 3-2 審査基準及び得点化方法

評価	審査基準	得点化方法
A	当該評価項目において特に優れている	配点×1.0
B	AとCの中間程度	配点×0.75
C	当該評価項目において優れている	配点×0.5
D	CとEの中間程度	配点×0.25
E	当該評価項目において優れているとは認められない	配点×0.0

イ 各審査項目の評価点については、次の算定式①により、各委員が個別に行った評価の平均値とする。なお、平均値を求める際は、小数第3位を四捨五入した値とする。

ウ イの結果をもとに、各応募者の得点の合計を算出する。

算定式①【非価格要素審査の得点算定式】

$$\left(\begin{array}{c} \text{当該応募者の} \\ \text{非価格要素審査の得点} \end{array} \right) = \frac{\sum (\text{各審査項目の配点} \times \text{審査基準})}{\text{委員人数(10名)}}$$

3 提案価格の確認

提出された提案価格が予算価格を超えていないことを確認する。なお、提案価格の確認のための開札は、非価格要素審査終了後、募集要項に定めた方法により実施し、提案価格が予算価格を超えていない提案のみ提案価格の得点化を行うこととする。

4 価格審査

(1) 提案価格に関する得点化方法

価格審査においては、提案価格（様式集、様式第14号に記載する金額をいう。）について、次の算定式②により得点を付与する。なお、得点は、小数第3位を四捨五入した値とする。

算定式②【価格審査の得点算定式】

$$\left(\begin{array}{c} \text{当該応募者の} \\ \text{価格審査の得点} \end{array} \right) = 40\text{点} \times \left(\frac{\text{最低提案価格}}{\text{提案価格}} \right)$$

※ 最低提案価格： 全応募者の提案価格のうち、最も低い価格。

5 総合評価点の算定方法

「2 非価格要素審査」、「4 価格審査」により算出した各応募者の得点から、次の算定式③により、各応募者の総合評価点を算出する。

算定式③【総合評価点の算定式】

$$\left(\begin{array}{c} \text{当該応募者の} \\ \text{総合評価点} \end{array} \right) = \left(\begin{array}{c} \text{当該応募者の} \\ \text{非価格要素審査の得点} \end{array} \right) + \left(\begin{array}{c} \text{当該応募者の} \\ \text{価格審査の得点} \end{array} \right)$$

第4章 非価格要素審査において審査する点

委員会は、各審査項目について、審査基準に基づき審査を行い、その内容に応じて、5段階評価により得点を付与する。なお、各項目については、審査の視点に対して、各応募者の過去の経験等を踏まえたより実現性の高い提案が望ましいものとする。

表 4-1 非価格要素審査において審査する点

審査項目				NO.	審査の視点	配点
大項目	中項目	小項目	細目			
1 設計・建設工事及び運営・維持管理に関する事項						43点
(1) 適正な環境保全対策を講じた環境負荷の少ない施設						12点
	ア	環境保全	① 公害防止基準を満足するための取組	1	・各公害防止基準を満足するための方策に実効性を期待する。 ・更なる環境負荷の低減に向けた要監視基準値、運転基準値の設定と監視方法、超過時の対応に実効性を期待する。 ・水銀対策として設計面、運転・運営面の対応に実効性を期待する。	4点
	イ	周辺環境に調和した施設	① 周辺環境に調和した施設	2	・周辺環境と調和した景観となることを期待する。 ・維持管理性に配慮した緑化面積の最大化を期待する。	4点
	ウ	環境学習計画	① 見学者対応及び環境学習計画	3	・安全性を配慮した見学ルートに期待する。 ・子ども、高齢者、障がい者など、見学者の年齢や立場等に配慮した環境学習プログラム、見学ルート、引率・説明方法、見学窓の配置等について、計画性と具体性を期待する。 ・見学者が体験を通じて、学習できるプログラムを期待する。	4点
(2) 施設の長寿命化を見据えた安全、安定な施設						27点
	ア	建設関連	① 工事工程	4	・施設の建設期間におけるごみの早期受入と試運転期間中の焼却処理量の最大化を期待する。 ・建設期間中の1号炉への搬入に際して、工事工程と整合した円滑な動線の確保を期待する。	4点
	イ	配置動線計画	① 屋外配置動線計画	5	・敷地条件を踏まえた全体配置計画に対し、計画性と妥当性を期待する。 ・車両と車両、車両と人に対する安全確保に対し、計画性と妥当性を期待する。 ・車両動線の構築及び場内誘導・サイン計画に対し、計画性と妥当性を期待する。 ・多様な搬入・搬出車に対し、安全かつ円滑な計量システムの構築を期待する。	4点
			② 屋内配置動線計画	6	・ごみ焼却施設における受入供給設備、待車、貯留、移送、投入作業等の配置動線計画に対し、安全性、作業性及び合理性を期待する。	3点
	ウ	施設の安全性	① トラブルの未然防止、事後対策及び非常時の安全確保	7	・地震、火災、浸水、停電等の予期せぬ災害による人身事故、機能障害等の防止や見学者及び作業員の緊急避難について、設計面及び運営面からの計画性と妥当性を期待する。 ・建設時及び運営時におけるトラブルの未然防止策及び事後対策について、具体性と実効性を期待する。 ・ヒューマンエラーによる一次災害・二次災害を防止する機能やシステム、ルールの構築に期待する。 ・責任不明のトラブル・不具合に対する対応（協議、確認方法、費用負担）について妥当性を期待する。	4点
	エ	施設の安定稼働	① 処理システムの信頼性	8	・処理システムの信頼性向上の取り組みとして、設備構成、設置基数（予備機）、最新技術の採用等について、設備面での充実に期待する。 ・幅広いごみ質に対応可能なシステム構築と、破碎残渣、し尿汚泥等の混焼によるごみ質変動に対して良好な燃焼状態を維持できるごみ貯留方法に計画性と実効性を期待する。	4点
			② 基本性能の維持	9	・施設の維持を考慮した点検、検査、補修及び更新の各対応について、計画性と妥当性を期待する。 ・事業終了後の整備コスト削減のための方策について、計画性と実効性を期待する。	4点
	オ	災害復興拠点	① 設備の強靱化	10	・東日本大震災等での経験を踏まえ、用水、用役等の貯留容量の設定や備蓄、調達先の確保等に計画性と妥当性を期待する。 ・大規模災害時における施設の安全な停止と早期の再稼働に向けたシステム構築に対し、実効性を期待する。 ・施設自体の強靱性に配慮した設計面及び運営面の工夫を期待する。 ・災害廃棄物及び他施設故障時に搬入された不燃ごみの貯留と搬出について、設計面及び運営面からの計画性と妥当性を期待する。	4点
(3) 資源エネルギーの有効利用に優れた施設						4点
	ア	エネルギーの有効活用	① 発電効率及び発電量	11	・高い発電効率、使用電力の削減、効率的な操炉計画による余剰電力量の最大化に期待する。 ・年間を通じた安定的かつ効率的な発電計画について妥当性を期待する。	4点
2 事業計画に関する事項						17点
(1) 組織体制						3点
	ア	組織体制	① 組織体制・人員配置計画	12	・組織体制及び運転管理体制において、各々の役割分担が明確であり、適正な人員配置であることを期待する。 ・他施設での運転管理経験を反映できる設計時の体制を期待する。 ・施設の安定稼働に配慮した人員の教育計画について、実効性を期待する。	3点
(2) 経営計画・事業収支計画						2点
	ア	事業収支計画	① 経営計画及び事業収支計画策定の考え方及び事業の継続性に係る担保	13	・20年間にわたる安定した事業経営計画及び事業収支計画について、計画性と妥当性を期待する。 ・事業初期段階の資金、20年間にわたる事業の安定継続の観点から十分な資本金が設定されていることに期待する。 ・長期にわたる事業継続性の担保に係る提案に対して、実効性と妥当性を期待する。 ・保険の具体的な付保内容に対し、妥当性を期待する。	2点
(3) リスク管理方法						4点
	ア	リスクの管理及び対処方法	① リスクへの対処方法に関する考え方	14	・リスク顕在化確率やリスク顕在化時の影響の極小化を可能とするリスク管理方針及び管理体制の構築を期待する。 ・事業実施前の段階において、リスクへの対処方法に対して十分な検討を行う仕組みと方策を期待する。	2点
			② セルフモニタリングの実施内容と頻度	15	・必要かつ十分なセルフモニタリング（事業計画のモニタリング）の内容及び頻度を期待する。	2点
(4) 地域貢献						4点
	ア	地域経済及び地域社会への配慮	① 地域経済及び地域社会への配慮	16	・本事業の実施に関して地元企業の活用と地元雇用に最大限配慮した計画となっていることを期待する。 ・建設段階や運営段階における地域社会への配慮について提案を期待する。 ・運転員等に係る地元雇用に関し、人員の移行計画について、実効性を期待する。	4点
(5) その他						4点
	ア	その他の提案	① 本事業への有効性	17	・その他本事業にとって有効な提案を期待する。	4点

審査の視点に示す用語の定義は以下のとおりである。

「計画性」：課題、原因、事例等の分析から提案内容を導いた過程や考え方が適切であるかを判断する

「実効性」：求めた性能、機能、方策について、実際に効果があるかを判断する

「妥当性」：提案内容そのものが適切かどうかを判断する

第5章 提案書に関するヒアリング

委員会は、提案書の審査及び評価を行うにあたり応募者に対し、ヒアリングを行う。なお、ヒアリングについては、応募者の独自のノウハウに関する内容も含むことが想定されることから、非公開のもとで実施する。

ヒアリングの開催要領の詳細は、別途通知する。

第6章 審査結果等の公表

審査結果等については、公表を行うとともに、応募者においては個別に通知する。